

令和4年度上大久保中学校だより

上中だより

第9号

令和5年1月6日(金)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「私の受験体験記」

けんもつ ゆきひこ
校長 監物 幸彦

2023年が幕を開けました。保護者及び地域の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと存じます。子どもたちの成長に向けて、教職員一同、引き続き努力してまいります。本年もよろしくお願いたします。

3年生は、いよいよ受験シーズンの到来です。今回は、私の受験体験記を綴りたいと思います。

私が中学生の頃はというと、偏差値全盛の頃で、北辰テストを学校の授業中に行い、その結果も担任の先生から返され、偏差値を基に進路指導をされていた時代でした。自慢ではありませんが、小・中学生の頃は、わりと勉強ができるほうでした。学年順位も上位でした。しかし、自分が受けたいと思っていた高校には担任の先生に受けさせてもらえませんでした。その頃は、受験校枠みたいなものがあった、それぞれの中学校から特定の高校に受験することができる人数が決まっていたからです。結局私は、第2志望の学校を受験して通うことになりました。今みたいに、体験入学や学校説明会などはほとんど行われていない時代なので、受験校を決定するための材料は非常に少なかったと記憶しています。この点では、今の中学生がうらやましいです。「学校説明会」「体験入学」「受験情報誌」「高校のホームページ」など、選択するための情報がたくさんあるからです。今、私が中学生だったら、自分の夢の実現のために、様々な情報から最適な高校を選び、バラ色の人生を送っていたことでしょうか？

ところで、『小・中学生の頃は、わりと勉強ができるほうだった。』私も、高校生になると、なんと成績は400人中380番ぐらいになりました。ご承知の通り、高校には同じくらいの成績の人が集まって来ます。その中で競争になるので、少し背伸びをして受験していた私は、まわりからどンドン置いて行かれてしまったのです。中学生の時は、「なんで、先生はあんな簡単なことを何度も繰り返して言っているのだろう。」とバカにしていたのですが、高校の授業では、先生が何を言っているのか全く理解できない授業がたくさんありました。大学受験のとき、自分の成績で行きたい大学は見つかりませんでした。そこで、初めて自分の将来について真剣に考え始めました。その結果、導き出したのが、音楽の道です。小さい頃から音楽は大好きでした。そして、音楽家を志すことになったのですが、そこから、私の転落人生は始まりました……。

自分の将来について真剣に考えた結果、音楽の道を志すことにしたのは、高校2年生の時でした。当然、親や周りからは猛反対をされました。しかし、私は自分の決断を貫き通しました。自分の興味関心や適性・性格を十分に考え、自分の17年間を総括して夢を追い求めることにしたのです。理想的な進路選択ではないでしょうか……。まずは、第一歩として、有名な音楽家の門をたたき弟子入りを志願しました。そして、その音楽家が教授を務める音楽大学へと進学することになりました。自分には才能があると信じて疑いませんでした。一日最低8時間は楽器の練習をするなど努力も怠りませんでした。しかし、現実は一筋縄ではなかったのです……。世の中には自分より才能がある人が巨万であることを入学して初めて思い知ったのです。遅いと言われればそれまでですが、自分の好きな道へ進めるということに、勝手にエキサイトしてしまっていて、冷静な判断力を失っていたのです。挫折しても音楽をやめようとは思いませんでしたが、音楽で飯を食うことはできないことを痛感し、次の人生設計を考えることになりました。

さて、話を中学生時代に戻します。私の中学生時代の恩師のA先生は音楽担当で2年生の時の担任でもありました。今から思えば、A先生が音楽の授業の時に、私のリコーダーの演奏を非常に誉めてくれたのが、音楽の道を進む原動力となっていたような気がします。このA先生は現在80歳を過ぎていますが、今でも1年に1回はお会いして、酒を酌み交わしながらご指導いただいています。その席で良く話題になることに、「夢を取るか？現実を取るか？」ということがあります。A先生いわく、『人生の重大事について悩む(よく考える)ことはいいことである。よく考えた上で、「どちらを選んでも幸せになれる」と考え、自分の意思で決断すれば良いのだ。良くないのは、決断したあとに、自分の選択を後悔したり、現状を嘆いたりして、今を愉しめない(幸せに暮らそうと努力しない)ことなのだ。』

夢をあきらめた私が、コンプレックスを抱いていることを見抜いての励ましの言葉だと思いますが、いまだにこの先生には頭が上がりません。

まとまらない話を長々と書いてしまいましたが、夢や希望は、人間としてたくましく生きていくための原動力となります。そして、それらを達成しようとする強い意志と着実な努力の積み重ねがあるからこそ、たとえ、その結果が実らなかったとしても生き甲斐のある豊かな人生が送れるのだと思います。3年生皆さんの健闘を祈ります。

(昨年度PTAだよりに書いたものを、加筆修正しました。)